

令和5年度福島県内の公立小学校における

農作業体験学習実態調査結果（概要版）

令和6年2月16日

福島県農村振興課

1 調査主旨

県内公立小学校において「田んぼ」や「畑」を活用し、農作業体験を通して農業・環境を学ぶ授業（以下、農作業体験学習）の実施状況を把握する。

2 調査概要

(1) 調査期間 令和5年12月13日～令和6年1月31日

(2) 対象校数 392校（令和5年4月1日現在）

(3) 回答校数 330校 回答率 84%（R4 348校 回答率：89%）

※特に表記のない場合、単位は「校」とする。

3 調査結果

<農作業体験学習実施状況>

問1 今年度農作業体験学習を行っていますか。

表1 農作業体験学習の実施状況

※回答数 330校

	地方別							県全体	参考 (R4)
	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき		
はい	65	73	23	52	11	30	39	293	312
いいえ	8	9	1	2	3	2	12	37	36
実施率	89%	89%	96%	96%	79%	94%	76%	89%	90%

回答のあった公立小学校330校のうち、約9割弱(293校)が農作業体験学習を実施している。

<農作業体験学習実施内容>

問2 農作業体験学習をどのように実施していますか。

※実施校 293 校（複数回答）

表2 農作業体験学習の実施内容（まとめ）

農作業体験学習取組校数の内訳	農地利用	農地不利用	(参考) R4	
水稲	田んぼ 120	バケツ・ プランター 119	田んぼ 120	バケツ・ プランター 129
野菜等	畑 206		畑 230	
田や畑を利用した農作業体験 学習の取組校数	240 (※重複 86)	—	252 (※重複 100)	—

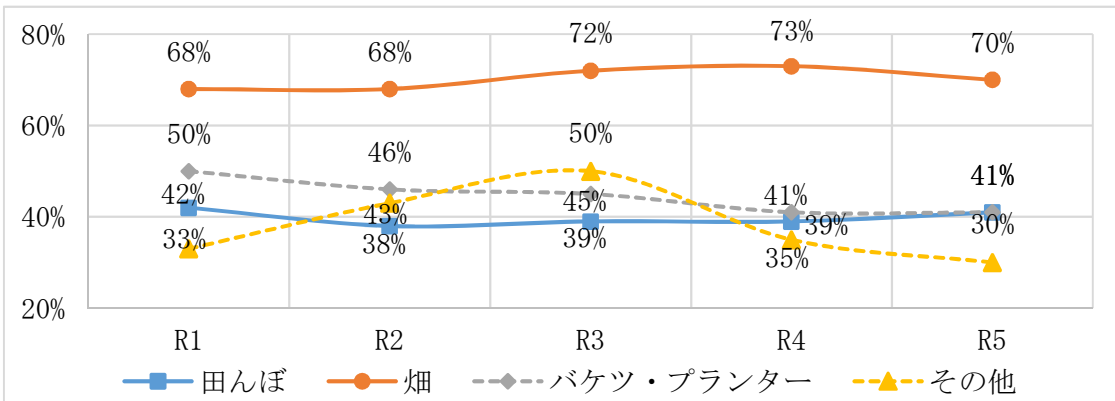


図1 農作業体験学習の内容別実施率の推移

農作業体験学習は、田んぼを利用したものが約4割、畑を利用したものが約7割、バケツ・プランターを利用したものが約4割、特に畑を活用した農作業体験学習が広く実施されている。

<農作業体験学習の具体的な取組内容>

問3 具体的にどのような作業をしていますか。

※実施校 293 校（複数回答）

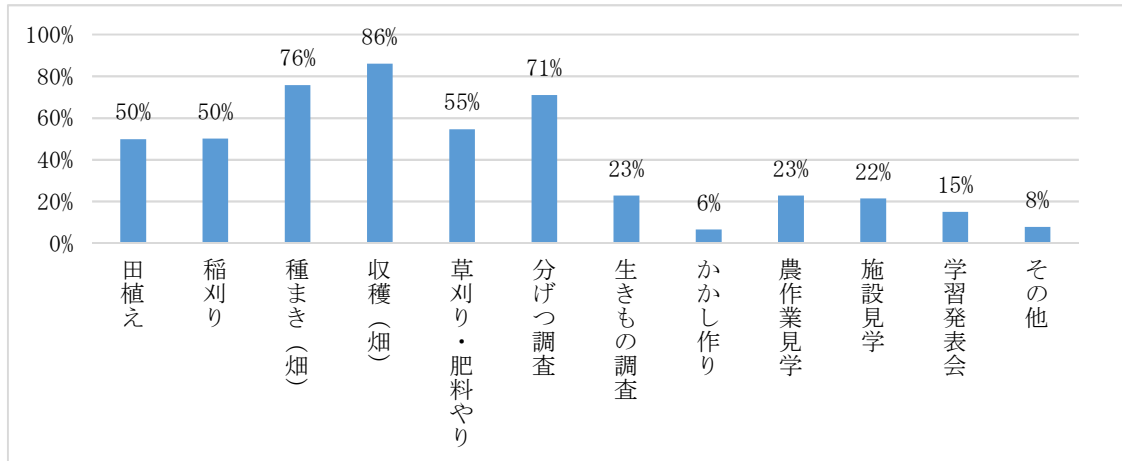


図2 農作業体験学習の具体的な取り組み内容

農作業体験学習の具体的な活動内容としては、畑での収穫、種まき・苗植え、生育調査が7割を超えており、次いで、草刈り・肥料やり、田植え、稲刈りが5割以上と多くなっている。また、農作業見学や施設見学、生きもの調査、学習発表会など、多様な取組が実施されている。

<農作業体験学習における協力者>

問4 農作業体験学習を行う際、どのような方に協力してもらっていますか。

※実施校 293 校（複数回答）

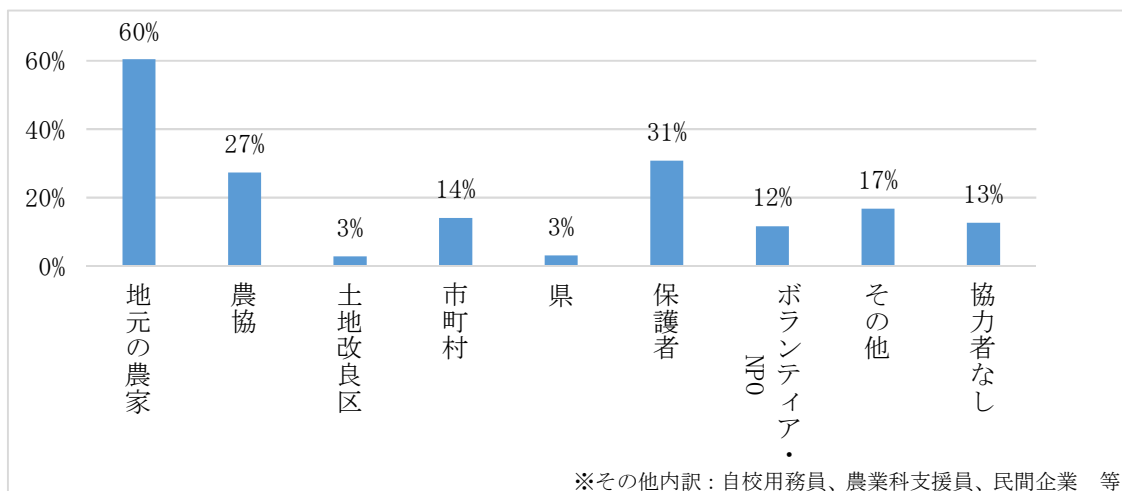


図3 農作業体験学習における協力者

農作業体験学習の実施に当たっては、地元の農家や保護者、農業についての知識や技能を有する農協などの協力が多くなっている。

<農作業体験学習の継続意向>

問5 今後も農作業体験学習を継続していきたいと思いませんか。

※実施校 293 校

表3 農作業体験学習の継続意向

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県全体
はい	64	72	23	52	11	30	39	291
いいえ	0	0	0	0	0	0	0	0
未回答	1	1	0	0	0	0	0	2

農作業体験学習を実施している学校のうち、ほぼ全ての学校で今後も継続したいとの回答が得られた。

4 まとめ

今年度は、回答あった県内公立小学校のうち89%（330校中293校）の学校で農作業体験学習が実施されており、その中でも、田んぼや畑といった農地を利用した活動は、70%（293校中240校）で実施されていた。一方で、主な理由としては、周辺に適した農地がないこと、農作業体験学習に割ける時間の確保が困難、他の体験活動を行っているなどの理由に、農作業体験学習に取り組むことができない学校は11%（330校中37校）であった。これらの課題のうち農作業体験学習を行う農地の確保については、すでに実施している学校でも活動を継続していくうえで懸念されている問題であり、教育機関、地域住民、企業及び自治体等が協働していく必要がある。

また、福島県に対して、農作業体験学習等に関する支援要望がある学校は32%（330校中107校）であり、要望の内訳としては農作業体験学習への支援要望は81校、生きもの調査への支援要望が57校であった。

多くの学校において農作業体験学習が継続して実施されていることや、本調査において回答あった意見等を踏まえ、県が実施している農作業体験学習及び生きもの調査の実施に係る支援や、若い世代を対象とした土地改良施設等の現場研修会の開催する「ふくしまの農育」推進事業について、ニーズに応じた支援内容の検討を行い、活動の充実を図っていくこととしたい。